

令和8年度 JVA第79回全日本バレーボール高等学校選手権 岐阜県代表決定戦（春高バレー県予選）競技運営について

岐阜県高体連バレーボール専門部

【試合運営について】

○大会参加申込時の選手登録について

- ・チームは大会参加申込時に最大18名の選手を登録することができる。
- ・申込時に登録したエントリーメンバーはその大会を通じて有効で、変更することはできない。

※エントリー変更がある場合は各チーム初日（女子18日、男子、女子シードチーム25日）の朝、受付時に再提出可能。（学校長印ありの原本）

○試合当日の構成メンバーとユニフォームについて

- ・試合当日は申込時に登録した18名の選手から12名以内のノーマルプレーヤーと、2名以内のリベロプレーヤーを構成メンバーとして試合ごとに申告し、試合を行うことができる。ただし、構成メンバーが12名を超える場合、リベロプレーヤーは必ず2名でなければならない。
 - ・ユニフォームは14番までの連番が望ましい。同一選手が別の番号を着用することは避ける。
 - ・構成メンバー表は大会当日に配布し、試合ごとに選手14名以内をエントリーして提出する。エントリーは試合ごとに行い、選手14名については試合ごとに変更できる。
- ※会場に到着したチームは本部で受付をすませ、速やかに構成メンバー表を提出する。**

○監督・コーチ等について

- ・監督は当該校の学校長が認めた者であれば、監督を務めることができる。
- ・コーチは当該校の学校長が認めた者であれば、コーチとしてベンチ入りすることができる。ただし生徒は認められない。
- ・マネージャーは当該校の職員か生徒（生徒の場合は必ず運動用服装を着装する）
- ・当該校の職員以外の者が監督コーチとなる場合は、年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。登録できるのは、監督またはコーチのどちらか一方に限る。
- ・ベンチスタッフのうち必ず1名以上は、引率責任を負える者を置く必要がある。（公立学校では非常勤講師、事務職員は引率責任者にならない）
- ・ベンチスタッフを教職員(マネージャーは生徒を含む)で構成する場合については、「同じ学園内の異なる高等学校」「同じ高校内の全日制、定時制」間を兼務している場合は、学校長が同一であれば当該校の職員と認める。

○ネットの高さについて

- ・男子2m43cm、女子2m24cmとする。

○大会使用球について

- ・男子ミカサ(V300W)、女子モルテン(V5M5000)のカラーボール（人工皮革）を使用する。

○プロトコールについて

- ・トスは記録席で行い、ファーストレフェリー（主審）の合図で公式練習（各3分または合同6分）を開始する。
- ・公式練習終了後、**レフェリーの指示**で14名がエンドライン上に整列後、レフェリーの吹笛、指示によりネット付近で両チームメンバーが握手の後ベンチに戻る。
- ・スターティングプレーヤーはコート内に入りラインアップを確認後、試合を開始する。
- ・公式練習についてはすべての試合で行う。
- ・第1日、第2日について、各試合の前に15分間の合同練習タイムをとる。（前の試合が終わったら自動的に次の試合の合同練習タイムに入る）
- ・第3日、第4日について、第2試合の前に20分間の合同練習タイムをとる。（第1試合が終わったら自動的に次の試合の合同練習タイムに入る）
- ・第3日の試合が連続する場合は、40分間の休憩時間を設け、その後プロトコールとする。

○日程について

- ・開場時間 9時00分
- ・練習時間等

男女 高校体育館・岐阜聖徳学園大学 (岐阜聖徳学園大のみ8:30より会場設営)	北部体育館	会場設営
9:00～9:15 第1試合のチーム練習	8:30	9:30～9:45 第1試合のチーム練習
9:15 代表者会議	9:45	代表者会議
9:35 第1試合開始	10:05	第1試合開始
平田町体育館		
8:00 会場設営		
9:00～9:15 第1試合のチーム練習		
9:15 代表者会議		
9:35 第1試合開始		

- ・第1試合以降は原則、前試合終了後、15分後に次試合プロトコールとする。
- ・3日、4日目については、該当チームへ連絡する。

【審判について】

○競技規則について

- ・本大会は、2026年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項で行う。
- ・選手交代は、ナンバー・パドルおよびブザーを使用しない。
- ・本大会は、ワンボールシステムで行う。
- ・監督はベンチから離れて指示をすることができる。

○レフェリーの構成について

- ・ファーストレフェリー（主審）は日本バレーボール協会または岐阜県バレーボール協会公認の審判資格を有する審判員、あるいは引率責任を負うことのできる学校職員、外部指導者のみとする。
- ・セカンドレフェリー（副審）は日本バレーボール協会または岐阜県バレーボール協会公認の審判資格を有する審判員あるいは引率責任を負うことのできる学校職員、外部指導者を基本とする。ただし、ファーストレフェリーが日本バレーボール協会公認の審判資格を有する審判である場合は岐阜県バレーボール協会公認の審判資格を有する高校生も可とする。

役職	担当可能者
ファーストレフェリー (主審)	①日本バレーボール協会公認審判員 ②岐阜県バレーボール協会公認審判員 ③引率責任を負うことのできる学校職員 ④外部指導者
セカンドレフェリー (副審)	①日本バレーボール協会公認審判員 ②岐阜県バレーボール協会公認審判員 ③引率責任を負うことのできる学校職員 ④外部指導者 *ファーストレフェリーが日本バレーボール協会公認審判員の場合のみ 岐阜県バレーボール協会公認審判資格を有する高校生

○服装について

(競技に出場する選手)

- ・ユニフォームのチーム表示は、学校名またはその略字とする。特に校章・代表地区名を加えることができる。個人名の表示は禁止する。番号の高さは胸番号15cm以上、背番号20cm以上とする。
- ・リベロプレーヤーは、チームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム（少なくともゲームシャツだけは）を着用しなければならない。（左右対称や上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること）リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにはお互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。
- ・ソックスはユニフォームの一部であるため、統一すること。（くるぶしが隠れるものであること）
- ・アンダーシャツ・パワーパンツについては、ユニフォームからはみださないこと。

- ・競技中、相手チームに悪い影響を与えるような形状・色彩は避けること。
- ・競技に関し、危険・支障があると思われる装飾品等の着用は避けること。
- ・ユニフォームはシャツの裾をパンツの中に入れてプレーをすること。

○ベンチスタッフ

- ・ベンチスタッフは、統一されたウェアとする。ただし統一されていない場合には、いずれかがジャケットを着用する。生徒がマネージャーの場合は、運動のできる服装であればよい。
- ・所定のマーク〔監督（監）、コーチ（C）、マネージャー（M）章〕は、明確に判別できる位置につけること。（左胸部が望ましい）
- ・規定に則しないと大会役員が判断した場合、チームまたは選手に注意を促すこととし、監督、コーチについてはベンチ入りが認められない。

○トレーナーについて

- ・当該チームの試合中に限り、チームトレーナーがフロア面（コントロールエリア外）に降りることができるが、コントロールエリア内、ウォームアップゾーンにいる選手に施術することはできない。また、チームへの戦術通達や応援もすることができない。
- ・年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。（変更する場合は改めて申請する）また、申請には、チームの学校長の承認を必要とする。（PDF による登録も可とする）
- ・チームトレーナーはビブスを着用すること。ビブスは各チームで準備すること。

○ワイピングについて

- ・試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。状況により、レフェリーの指示でラリー終了後、交代選手（3名以内）が速やかにコートに入ってのワイピングを認める。
- ・タイムアウト時及びセット間のワイピングは、各チームで行う。

○公式練習について

- ・相手チームは当該チームの迷惑にならないようにする。自チームベンチ前、または相手側コート後方で行う。
- ・公式練習時は、ベンチスタッフ及び14名の選手の者しか競技場内にいることができない。

○コートアシスタントについて

- ・第1試合のスコアラー（記録）、ラインジャッジ（線審）、得点は試合の組み合わせ表で指定されたチームが行う。第2試合以降は前試合の敗者チームで行う。

○開始式、閉会式

- ・開始式については、実施しない。
- ・閉会式については、第4日試合終了後に実施する。

○給水タイムについて（第1日～第3日に適用する）

- ・気温の上昇が予想されるため、熱中症予防の観点から、「給水のためのタイムアウト」を採用する。
- ・リードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを適用する。
- ・セカンドレフェリー（副審）が給水タイムのホイッスルを行い、コントロールする。13点で給水タイムのホイッスルが行われなかった場合は、気づいた時点のラリー完了後にホイッスルし、給水タイムを行う。
- ・13点で正規の試合中断を要求する場合は、給水タイムを優先する。
- ・第3セットについては、コートチェンジ後にローテーションを確認し、その後セカンドレフェリーのホイッスルで給水タイムに入る。
- ・給水を行う場所はウォームアップエリア付近とし、給水タイム中にチームスタッフが会話や指示をすることは禁止する。生徒マネージャーはこれに含まない。
- ・25点以降は、30・30、40・40というように10点おきに給水タイムを採用する。
- ・30秒間はコート外にとどまる。また、給水を目的としたタイムアウトの為、選手のウォーミングアップは禁止する。

【会場駐車台数制限について】

参加校 1 チームあたり、下記の台数まで駐車可能

○初日 10月18日(日)

女子 多治見北 : 5 台 東濃実業 : 5 台
本巣松陽 : 5 台 岐阜各務野 : 5 台

○2日目 10月25日(日)

男子 大垣日大 : 3 台 女子 大垣養老 : 10 台
岐阜聖徳 : 3 台 岐阜総合 : 8 台
岐南工 : 5 台 北部体育館 : 5 台
平田町体育館 : 7 台 岐阜聖徳学園大(羽島キャンパス) : 7 台

○3日目 女子 10月31日(土)、男子 11月 1日(日)

男子 山県市総合体育館 : 12 台
女子 池田町総合体育館 : 20 台

○4日目 11月22日(日)

男女 OKB ぎふ清流アリーナ : 制限なし

<初日～3日目>

マイクロバス・引率教員は除く

*部員数が 30 名以上の所属があり、上記の台数が困難な場合は事前に会場校(公共体育館は専門部)までお問い合わせください。

***制限なしの会場についても駐車スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせてご来場下さい**
上記の内容は各チームで保護者等関係者へ必ず連絡し徹底すること。

【山県市総合体育館について】

- ・敷地内全面禁煙(駐車場も含む)です。体育館周辺の路上喫煙もおやめください。
- ・館内の靴箱は使用不可です。靴袋をご持参ください。

【公共施設 AED 設置場所】

施設	設置場所	施設	設置場所
平田町体育館	1 階 事務室	山県市総合体育館	1 階 事務室
岐阜市北部体育館	1 階 事務室	池田町総合体育館	1 階 事務室
岐阜聖徳学園大学	体育館入口	OKB ぎふ清流アリーナ	1 階フロア東、2 階事務室

【その他】

○会場使用上の注意について

- ・貴重品は各チームで保管すること。
- ・上下足の区別については厳守すること。
- ・競技に関係のある場所以外への出入りを禁止する。
- ・試合中(公式練習含む)に競技エリア内(チームベンチ含む)からの撮影は禁止する。
- ・清掃はチームで徹底し、応援席や控室(更衣室)など会場内のゴミはすべて持ち帰ること。
- ・部旗、横断幕等の位置、場所については、競技に支障をきたさないように配慮し、競技中のチームを優先して掲げるものとする。
- ・競技関係者以外の応援は、2 階のギャラリーを利用し、本部席、競技場 1 階フロアへは立ち入らないこと。
- ・観戦者は会場から示された観戦マナーを徹底する。極端に早い時間に駐車場に並んだり、シート等を敷いての場所取りはご遠慮ください。
- ・**感染症予防は各自対策してください。**
- ・観戦する際に発声を伴う応援や手拍子、メガホン、ペットボトルマラカスの使用についても認める。
- ・競技エリア内(チームベンチ含む)に応援グッズは持ち込まない。
- ・公共体育館では靴箱は使用せず、靴袋をご持参ください。
- ・第 1 日・第 2 日について、太鼓、拡声器、のぼりの使用は禁止とする。
- ・第 3 日・第 4 日、公共体育館での太鼓の使用は 2 階ギャラリーのみとする。

また、全ての会場について、拡声器の使用は禁止とする。